＼きちんと使えた？まちのお金／

令和7年度決算審査

令和7年度の決算審査が終了しました。この1年間で町は1億9,600万円の“貯金”を確保しましたが、果たして予定されたまちづくりが滞りなく進められていたのでしょうか？

詳しくはこちら

広報みはる10月号
P8「決算報告」をチェック

総務分科会

歳入・歳出の状況やふるさと納税、広報活動、各種事業の執行状況などを審査しました。

財政運営の状況を確認し、今後の事業の効果的な実施について質疑を行いました。

議員からの意見

ふるさと納税の寄付額が約3,000万円から約2,000万円に減少したことをふまえ、返礼品の見直しと新たな商品の開拓を求めました。モンベル商品やキャンプ等の体験型返礼品の活用、返礼品の掲載方法やPRの充実を図り、寄付額の回復につなげるよう求めました。



おでかけ応援隊・支援隊、地域公共交通、交通安全対策、消防車両の更新、防災対策などについて審査しました。

利用条件や事業効果を確認するとともに、今後の交通、防災体制について質疑を行いました。

議員からの意見

おでかけ応援隊・支援隊は利用者数だけでなく、地域の支え合いや送迎困難な方への支援も考慮し、継続を求めました。

また、安心おでかけタクシーは利用実績や運行経費を検証し、実証実験終了後も町民の移動手段が確保されるよう、早期に方針を示すことを求めました。





分科会

3つの分科会に
分かれて議案審査



審査結果報告

予算決算特別委員長に
より審査結果を報告



本会議

質疑、討論を行い議案を採決